



6月3日（水）から16日（火）にかけて、高等部で前期実習が行われました。企業や福祉事業所、校内での実習を通して、社会生活に必要な態度やマナーの大切さを実感することができました。事後学習では、自分の目標の達成度を振り返ることで、成果と課題を明確にしました。特に課題については卒業後の生活につながるように、今後、意識して生活することが大切であることを確認しました。

校内実習

校内に模擬事業所を設定して実施しました。一般事業所から委託されて作業を行っている班もあります。将来の生活に必要な挨拶や報告の仕方、作業スピード、休憩時間の過ごし方、体調管理や清潔面に気を付けることの大切さなどについて、より具体的な場で経験するとともに、働く意欲を高めることを目的として作業に取り組みました。

ダイコク化成稲川工場

（ポリパックの結束）



稲川総合

（マルチシート張り）



（シール貼り）



現場実習

進路希望に合わせて一般事業所や障害福祉サービス事業所で、実習を行いました。一般事業所での実習では、製造、サービス業など、様々な業種の事業所に協力をしていただきました。また、福祉サービス事業所での実習では、職員や利用者の皆さんと関わりながら、様々な作業を体験させていただきました。得意なこと、苦手なことについて理解が深まり、進路について、より具体的に考えるよい機会となりました。

（写真は一部です。）



バザール横堀店



昭平苑



愛光園



ブリエ十文字



ぱっけ



秋田基準寝具



やまばと園



寛文五年堂

中学部前期作業週間について

中学部では、6月8日（月）から12日（金）までの5日間、一日中作業学習を行う「前期作業学習週間」がありました。作業学習週間を初めて体験した1年生にとっては、長く疲れる5日間だったと思いますが、作業手順を覚えたり、報告や挨拶が大きな声になったり、成長を感じられた一週間でした。

手工芸班



陶芸班



リサイクル班



《「令和8年度湯沢雄勝地域障害福祉サービス事業所合同説明会」を行いました》

6月2日（火）、本校を会場に湯沢雄勝地区の福祉サービス事業所による合同説明会を行いました。基幹相談支援センター、ハローワーク、就労・生活支援センターを含めた21ブースに小学部、中学部、高等部から22世帯が参加し、情報収集や疑問についてのアドバイスを聞くことができました。参加された保護者の皆様からは、「聞きたいことが聞けた」「サービス利用についての理解が深まった」「在学中、卒業後のサービス利用について聞くことができた」などのご意見をいただきました。また、参加された事業所様からは、早い段階から事業所と保護者のつながりを作ることでできる貴重な機会であり、小学部、中学部の保護者様が興味をもってくれたことが成果だったとお話がありました。

今年度は暑さ対策等のため、例年より1か月早く行いましたが、多くの方に参加していただいたことで、地域の応援団を知り、情報を共有できた充実した会となりました。

